

# Meikei High School



## International Baccalaureate Diploma Programme



IBDPコース

**茗溪学園高等学校**

### 進化し続ける茗溪学園のIB教育

茗溪学園は

「人類ならびに国家に貢献しうる『世界的人材』の育成」を理念とし、

社会全体の幸福(ウェルビーイング)の実現を目指した教育を行ってきました。

2016年にIB認定校となり、多様な文化理解と国際的な協働を重視するIBの理念は

本校の教育方針と深く一致しています。

これまでにスタンフォード大学やUCバークレーなど世界トップ大学への進学実績を重ね、

生徒の活躍はグローバルに広がっており、「世界を舞台に活躍する力」を育てています。

# 自律した学習者へ

DPでの学びを通して自己を見つめ他者との議論を通じ、様々なものの見方や価値観をはぐくみます。  
自らの行動が、自分の人生や世界を変えられると信じられる、自律した学習者へ成長していきます。



## 国際バカロレア (IB) ディプロマ・プログラム (DP) とは

DPは16歳～19歳までを対象としており、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を修めると、国際的に認められる大学入学資格 (国際バカロレア資格) を取得できるプログラムです。

DPでは、以下の6つのグループから1つずつ科目を選択し、コア科目であるTOK、EE、CASを履修します。英語と日本語で学ぶ日本語DPに加えて、全ての科目を英語で学べるなど、選択科目を増やし続けています。

| IBDP科目 | DP 科目グループ                                      | 茗溪学園の実施科目 (2025年度)                                                                                                                                               |                                           |
|--------|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
|        |                                                | 英語開講科目                                                                                                                                                           | 日本語開講科目                                   |
| IBDP科目 | 01 言語と文学<br>Studies in Language and Literature | ● English A (HL/SL)                                                                                                                                              | ● 日本語 A (HL/SL)                           |
|        | 02 言語習得<br>Language Acquisition                | ● English B (HL/SL)<br>● English A (HL/SL)                                                                                                                       | ● 日本語 B (HL/SL)<br>● 日本語 ab initio        |
|        | 03 個人と社会<br>Individuals and Societies          | ● Economics (HL/SL)<br>● Environmental Systems and Societies (HL/SL)                                                                                             | ● 歴史 (HL)<br>● 地理 (SL)                    |
|        | 04 理科<br>Sciences                              | ● Chemistry (HL/SL)<br>● Biology (HL/SL)<br>● Environmental Systems and Societies (HL/SL)                                                                        | ● 物理 (HL/SL) ● 化学 (HL/SL)<br>● 生物 (HL/SL) |
|        | 05 数学<br>Mathematics                           | ● Mathematics (HL/SL)                                                                                                                                            | ● 数学 (HL/SL)                              |
|        | 06 芸術<br>The Arts                              | ● Economics (HL/SL) ● Chemistry (HL/SL)<br>● Environmental Systems and Societies (HL/SL)<br>● Film (SL)                                                          | ● 化学 (HL/SL)                              |
| コア科目   | TOK 知の理論<br>Theory of Knowledge                | 具体的な知識について学習するのではなく、知るプロセスを探究します。曖昧さや不確実性、さらには理にかなった答えが複数存在する問いを考えることを通して、知識の性質と知るプロセスを探究し振り返る機会を生徒にもたらしめます。すでに知っていることを振り返り、それをより大きな視座のなかでとらえられるようになることを目指します。   |                                           |
|        | EE 課題論文<br>Extended Essay                      | 自分で選んだトピックについてリサーチし、学術論文を執筆します。重要な意義をもつ問題や生徒が個人的に気にかけている研究領域に深く踏み込んで、そのトピックや研究の方法論、および批判的思考について学ぶだけでなく、時間を管理する能力、意志を貫徹する能力、困難を克服する能力、決定を下す能力など、応用可能な重要なスキルを学びます。 |                                           |
|        | CAS 創造性・活動・奉仕<br>Creativity・Activity・Service   | 創作や運動、ボランティアをするなど、自分で計画を立てて課外活動に取り組みます。自分の興味のある分野を掘り下げることで、自分とは何者なのかを理解することに繋がります。                                                                               |                                           |

中学からの内部進学生は高校進級時に選考を経て、高校からの入学生は高校入試受験時に、希望者がDPコースを選択します。高3の10月～11月実施の最終試験と、授業内での個人研究、個人口述試験などで45点満点で評価され、そのスコアとエッセーなどで大学に出願します。海外大学はもちろん、国内大学は主にIB入試や総合型選抜、学校推薦型選抜で受験できます。

### ◎大学合格実績 [IBDPコース1～6期生]

世界ランキング100位以内の海外大学 合格者総数 **200** 名以上!

DP取得率

95.0%

海外大学進学率

58.1%

#### 国内大学

[国公立大学]  
筑波大学 / 岡山大学 (医学部含む) / 横浜市立大学 (医学部含む) /  
国際教養大学 / 北海道大学 / 京都大学 (医学部含む) /  
東京医科歯科大学 / 福井県立大学 / 鹿児島大学 (医学部含む)  
[私立大学]  
早稲田大学 / 慶應義塾大学 / 上智大学 / 国際基督教大学 /  
立命館大学 / 北里大学 (医学部含む) 他

#### 海外大学

[U.S.A.]  
Brown University / Columbia University / Duke University / Northwestern University /  
Stanford University / UC Berkeley / UCLA / UCSD / Vanderbilt University /  
Williams College 他  
[U.K.]  
Imperial College London / King's College London / University College London /  
University of Edinburgh 他  
[その他]  
University of Melbourne (Australia) / University of Toronto (Canada) / KU Leuven (Belgium) 他

#### 奨学金

公益財団法人柳井正財団「海外奨学金プログラム」3名合格 日本学生支援機構 (JASSO)「海外留学支援制度 (学部学位取得型)」20名以上合格

### ●コース3年間の流れ

| 高校1年                                                  | 高校2年                                                                      | 高校3年                                                |
|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| preIBとして国語、数学、英語でDPコースで学ぶ準備を行います。1月から各教科でDPの学びが始まります。 | 夏から冬にかけてEE (課題論文) に取り組みます。秋にはシンガポールへ研修に行き、冬以降は各科目での個人研究や口述試験への取り組みも始まります。 | 夏頃から大学受験のためのエッセーや面接の準備に取り組み始めます。10月～11月に最終試験を受験します。 |

## Students' Voices

在校生の声

### preIB

preIBでは、日本語・英語・数学をIBに沿ったカリキュラムで学びながら、IBの学習者像や特有の学び方、基本理念を実感することができました。特に日本語の授業では、実際の最終試験を想定して、小説『グレート・ギャツビー』や非文学テキストの分析に取り組みました。これは日本の一般的な高校ではあまり学べない貴重な経験です。非文学テキストには、新聞広告や中吊りポスター、記事などさまざまな種類があります。日常に自然と存在するこれらの様なテキストを分析することで、普段何気なく見ていた広告などにも工夫が凝らされていることに気づき、つい分析的に見てしまうようになりました。preIBの学びにはIBの要素が多く含まれており、IBDPへ進む前のとても有意義な準備期間となりました。



DPコース8期生  
山田 悠貴さん



DPコース7期生  
西廣 佐紀さん

### Environmental Systems and Societies (ESS)

ESS (Environmental systems and societies) の授業では気候変動や生物多様性などの環境に関するトピックに加え、COPなどの環境と社会のつながりについて学んでいます。授業は英語で開講されており、課題や最終試験も英語で行います。私は海外在住経験がなく、中学で初めて英語を学び始めました。最初のころは、授業についていけなくて困ったこともありましたが、ESSの授業を受け始めてから約1年半たった今は、先生の話している内容が理解できるようになってきたのに加え、日常でも英語で書かれた文を読むことや英語の講義に参加することへのハードルが低くなってきました。英語が苦手なことを理解して助けてくれる友達や先生が周りにいる環境で、英語を使って授業を受けるという体験は、IBならではの貴重な学びだと感じています。

### TOK (知の理論)



The most interesting part of TOK is how it challenges me to break my stereotypes and biases about knowledge. Each class brings new insights as I try to detach from my previous assumptions and immerse myself in a new paradigm. We explore Areas of Knowledge (AOKs), such as history and the natural sciences, and discuss questions with classmates whose diverse perspectives always inspire me. TOK is also practical in everyday situations —whether in other classes, reading, or listening to the news. For instance, IB students often reflect on the risks of sharing knowledge, like oversimplification or misunderstanding. We can help prevent this by seeking information from multiple perspectives and researching the author's background, which allows us to maintain objectivity in our understanding of knowledge. Initially, I struggled with TOK because it reminded me of philosophy, my least favorite subject. But I came to realize that it's really about exploring the nature of knowledge. I believe the skills we develop in TOK will stay with us beyond the IB.



DPコース7期生  
結城 遥香さん



DPコース7期生  
横山 葉夏さん

### 日本語 A

日本語Aの授業では、文学作品や広告などの非文学作品を分析します。たとえば、文章では構成や言葉の選び方、イラストや写真では色使いなどの特徴に注目し、その目的や意図についてディスカッションを通して考えます。授業を受け始めてからは、電車内の広告など日常にある表現における工夫にも気づき、面白さを感じるようになりました。また、作品と当時の社会背景とのつながりを分析することも、日本語Aの授業の魅力の一つです。異なる価値観や社会情勢がどのように作品に反映されているかを読み解くことで、作品により深みや奥行きを感じられます。こうした作品分析を通して、過去や現在の社会、そして人間について考えることで、歴史とは違った形で世の中への理解を深めることができていると感じています。

### Biology

生物の授業では、分子、細胞、個体、生態系の4つのレベルについて学びます。授業では、あるものがどのように機能するのか、そのために何が必要で、何を生み出すのかという点に特に重点を置いて理解を深めています。特定のトピックを学ぶ際には、ツールや動画を見るなどして、これから学ぶ内容を視覚的に理解しています。これにより、より深く内容に入り込むことができます。いくつかの章では、グループでプレゼンテーションを作成したり、さまざまな形式で授業が進みます。また、各章ごとに小テストのような形でワークブックのページが宿題として出されます。生物は難しい科目だと思いますが、みんなで助け合いながら学んでいます。それによって内容の理解が深まるだけでなく、仲間との絆も強くなっているのを感じます。



DPコース8期生  
Naik Nicolasさん



DPコース7期生  
永田 多朗さん

### CAS (創造性、活動、奉仕)

CASの中で一番自分にとって意義のあった活動は、「NOBILVA」という、生徒主導のプラットフォームを共同設立したことです。ここでは、子どもたちが匿名で質問し、メンターがそれに回答します。私はもともと内向的でしたが、何度も行った企画会議を通じて、他者と協力する力やリーダーシップを身につけることができました。もう一つの大きな転機は、国立天文台の研究者とともに取り組んだ活動です。ここでは系外惑星の大気に関する研究プロジェクトに参加しました。以前から天文学者になることが夢でしたが、この経験を通じて「系外惑星を研究したい」という明確な目標を持つようになりました。これらの経験によって、視野が広がり、自信を持てるようになり、将来の夢への第一歩を踏み出すことができたと感じています。



## Teachers' Voices

### 教員の声

#### 歴史



茗溪学園の歴史の授業では、20世紀の歴史を中心に学習を行っています。国際バカロレアでは、他者との違いを認識し、それぞれの立場を考慮することができる人間になることがその目標の一つに掲げられていますが、歴史を学ぶことはまさにその観点の育成に大きく寄与します。原因、視点、変化といった概念を軸に歴史を学ぶ中、子どもたちは歴史に対する評価が単純には答えられない事に気が付きます。近隣諸国からの留学生や欧米で育った経験のある生徒など、多様な価値観が満ちている教室内では、ディスカッションを通じたお互いの価値観の見直しと新たな視野の形成が日々繰り返されています。終わりのなき探究に取り組むDP歴史は、困難ですがやりがいのあるチャレンジだと感じています。



榊原 里佳 先生

#### English B



Sicari Kristopher Daniel 先生

In English B we believe in the transformative power of language. Intended for proficient non-native speakers, the course focuses on the usage of authentic English in a variety of contexts – personal, professional, academic and in the media. With an emphasis on communication, students develop the capacity to empathise, challenge ideas, demonstrate leadership and collaborate with others in a nuanced and culturally sensitive manner. In the course we explore a plethora of themes designed to foster global awareness, intercultural understanding and personal reflection through student-led and project-based learning. If your vision for the future transcends national boundaries, English B will equip you with vital tools for your journey.

## Graduates' Voices

### 卒業生の声

IBの真の魅力は、多彩な学びの機会と、そこから身につく「将来に生きる知識とスキル」にあります。IBで過ごした二年間は、様々なことに関心を持ち、その関心分野に対する知識を深めるきっかけとなりました。例えば、TOKでは哲学や倫理学を学び、その結果、大学でも古典学や宗教学の授業を履修しています。EEでRSA暗号の仕組みを調べることは、大学でコンピューターサイエンスを専攻として考える原動力となりました。IBで育んだスキルも、現在の大学生活でも大いに役立っています。例えば、JRC同好会での活動や、同好会の先生の熱意を受け、私は積極的に挑戦をする人に成長し、他愛の大切さを学びました。その教訓を通し、未経験者として和太鼓に新たに挑戦するなど、充実した大学生活を送っています！



DPコース5期生 定本 一瑛さん  
スタンフォード大学在学中



私は4月から、各診療科を回る臨床実習に取り組んでいます。患者さんをはじめ、医師、メディカルの方々とコミュニケーションにおいては、お互いが異なる価値観を持つことを理解した上で、最大限の結果を出せるよう協働することが重要です。医学生として未熟ながらも、IBコースで培ったスピーチや議論のスキル、さらに学問的誠実性や倫理的思考が自分の支柱となり、多くを吸収し充実した実習生活を送ることができています。

医学部では、とすると視野が狭量になってしまいましたが、自分の活躍の場は世界と地続きであるという実感や自信を高校生時代に得たおかげで、国内外の研究所や大学での見学など、意識的に世界を広げる機会を得られました。総じてIBで学んだ経験は、今後どのような道に進んでも、人生を通じて自分を助けてくれると確信しています。

DPコース2期生 吉見 日花流さん  
京都大学医学部医学科在学中



# 茗溪学園中学校高等学校

〒305-8502 茨城県つくば市稲荷前 1-1  
TEL.029-851-6611 FAX.029-851-5455

<https://www.meikei.ac.jp>



国際バカロレア機構ホームページ  
<https://www.ibo.org/>



国際バカロレア機構 IB ワールドスクール【茗溪学園】  
<https://www.ibo.org/en/school/051095/>

